



地域に誇れる
学校づくりを
みんなで
話し合おう

2014.4.17 発行

発行・お問合せ/和光市教育委員会事務局学校建設準備室 〒351-0192 和光市広沢1-5 電話 048-424-9144 FAX 048-464-7901 編集・ワークショップ運営/株式会社 松田平田設計

はじめに 前回のふりかえり

- 地域のコミュニティの核となる施設にするには地域と学校でどんな活動・シーンがあるべきか議論しました。
- 児童の安全で楽しく豊かな学習環境をつくるためには地域の力を活用した管理のしくみについて意見が交わされました。

ワークショップ ① 各テーマで考えた具体的な活動・シーンの内容を踏まえ、どんな場所（複合ゾーン）が必要か？

グループ A 図書館分館

【学校図書室】

- ・地域の幼児親子等が学校図書を読覧できるようにしたい（授業時間帯は除く）

【多目的室】

- ・地域の中・高校生や児童の学習スペースとして活用したい
- ・地域住民の談話コーナーとして活用したい

【屋外テラス】

- ・地域住民の談話コーナーとして活用したい
- ・・・その他、前回と同様に様々な意見が出ました

グループ B 児童館・保育クラブ

【多目的室】

- ・音楽室や家庭科室等として児童館事業で活用したい

【図書館分館】

- ・保育クラブの子どもが勉強する場として活用したい

【プール】

- ・児童館事業のプール活動として活用したい

【市民広場】

- ・遊びの場として児童館事業で活用したい
- ・・・その他、屋内運動場やグラウンドについて前回と同様な意見が出ました

グループ C 市民広場・パークアベニュー

【市民広場】

- ・地域住民の散策の合間の休憩所としたい
- ・地域のイベント活動で活用したい

【パークアベニュー】

- ・パークアベニュー沿いに運動できるベンチや器具があり、運動の場としたい
- ・幼児用の遊具スペースを設置し、遊びの場としたい

- ・・・その他、前回と同様に様々な意見が出ました

ワークショップ ② 場所（複合ゾーン）の利用を希望する利用日・時間帯について考えよう！

グループ A 図書館分館

- ・学校図書室を授業以外の時間帯に、開放してほしい（書籍貸出は学校児童のみ）
- ・多目的室を授業以外の時間帯に、開放してほしい
- ・図書館分館は学校児童に常時開放してほしい

グループ B 児童館・保育クラブ

- ・長期休暇は児童館等の利用率が上がるため、複合ゾーン（屋内運動場・グラウンド等）を利用可能にほしい
- ・学校が使用しない放課後等に複合ゾーン（屋内運動場・グラウンド等）を利用可能にほしい

グループ C 市民広場・パークアベニュー

- ・パークアベニューは終日開放してほしい
- ・市民広場は夜間（21時～6時）を除き、終日開放してほしい



ワークショップ ③ 場所（複合ゾーン）の利用時間を成立させるために必要な管理・調整役を考えよう！

グループ A

- ・学校と図書館分館の両主体を調整役がつかない、統括的な運営が必要
- ・学校図書室の開放時間の調整等、日常的な利用時間帯の調整も必要

グループ B

- ・学校側のメリットを生む相互運用が重要
- ・学校の管理時間外の活用を行う時は責任を担う組織等が必要
- ・学校/図書館/児童館・保育クラブ/市民広場の運営に関わる4者の話し合いによる運営

グループ C

- ・地域・学校・行政が三者一体となるため、その調整役（管理人）が必要
- ・調整役は中立的な立場とし、学校と地域が連携した活動イベントを企画・運営

ワークショップのまとめ

- ◇ワークショップ全体を通して「学校に併設される施設の複合化メリットを引き出すために」というテーマのもと学校づくりについて議論頂きました。
- ◇第1・2回のワークショップでは全グループで各テーマごとの要望・課題を挙げ、全参加者で複合化の方針や課題への共通認識を持つことができました。
- ◇第3・4回のワークショップでは地域のコミュニティの核となる施設にするには地域と学校でどんな活動・シーンがあるべきか議論し、建物に反映されるべき各施設への意見及び学校と地域の複合ゾーンの在り方について意見をまとめました。また、児童の安全確保や複合ゾーンの利用を成立させるため、管理・運営の在り方についても議論し、安全面・運営面の今後の検討事項をまとめることができました。

参加者からの意見・感想

- 地域のシンボルになるであろう画期的な学校建設ワークショップに参加でき、充実した時間を過ごせた
- 市民が主体となり協働のまちづくりを推進する上で、学校建設について話し合えたのは勉強になった
- ワークショップで抽出された安全面・運営面の課題を解決できるように取り組んで頂きたい
- 複合施設としての学校づくりの為、これまでとは違った新しいシステム・組織・運営を検討してほしい
- ワークショップに留まらず今後も学校運営に携わっていきたい

他にもたくさんの意見頂きました！



意見発表を聴くワークショップメンバー

第1～4回ワークショップの内容を踏まえ、報告書をまとめていきます。ワークショップお疲れさまでした！